

# 令和六年度 安全衛生技術講演会

オンライン開催

主催：独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

当研究所では、労働安全衛生に関する研究成果を皆様にわかりやすくご紹介するために安全衛生技術講演会をおこなっています。

講演はオンライン形式で開催致しますので皆様奮ってご参加ください。参加の申込みは、下記のURLからお願いします。



お申し込み

<https://www.jniosh.johas.go.jp/announce/2024/kouen.html>

申込期限は設けておりませんが、定員に達し次第、受付を終了いたします。

開催日時 **令和 6 年 9 月 2 6 日 (木)** 13:00 から

プログラム

13:00 ~ 13:10	開会（主催者挨拶）	
講演① 13:10 ~ 13:55	勤務間インターバル制度の利点と課題	人間工学研究グループ 池田大樹 主任研究員
13:55 ~ 14:00	休憩	
講演② 14:00 ~ 14:45	法改正による職場環境と労働者の健康状態への影響	社会労働衛生研究グループ 加島遼平 任期付研究員
14:45 ~ 15:00	休憩	
講演③ 15:00 ~ 15:45	すべり転倒の現状と評価・対策について	リスク管理研究グループ 柴田圭 研究員
15:45 ~ 15:50	休憩	
講演④ 15:50 ~ 16:35	脊椎損傷者のための動力付外骨格型機器の開発	新技術安全研究グループ 小山秀紀 任期付研究員

ご参加にはインターネット接続環境および、端末（PCやスマートフォン等）が必要です。

お申し込み等に関するお問い合わせ

独立行政法人 労働者健康安全機構  
労働安全衛生総合研究所

安全衛生技術講演会 事務局  
（外部：株式会社ワールドクリエーション）  
Tel: 03-3431-2291（平日：9:30-18:30）  
E-mail: kouen2024@s.jniosh.johas.go.jp

## 講演① 勤務間インターバル制度の利点と課題

人間工学研究グループ 池田 大樹 主任研究員

勤務間インターバルとは勤務の終了時刻から翌始業時刻までの休息期間のことをいう。日本では、2019年4月から一定時間の勤務間インターバルを確保する勤務間インターバル制度の導入が事業主の努力義務とされた。

本発表では、演者の研究を中心に勤務間インターバルと健康に関する先行研究を概説するとともに、科学的根拠に基づく勤務間インターバルの利点と課題について考察する。



## 講演② 法改正による職場環境と労働者の健康状態への影響

社会労働衛生研究グループ 加島 遼平 任期付研究員

人々の働き方に関連する国の法令や施策は、時間外労働の規制等を中心に時代に応じてアップデートされている。しかし、このような法令等の改正によるその後の効果についてはあまりよく知られてないのが現状のようである。

本発表では、「割増賃金率の引き上げ」に着目して、労働時間・長時間労働者割合やメンタルヘルス等に及ぼした影響に関する研究成果を紹介する。また、現在までの各種法令等の改正や国の施策の内、労働者の職場環境と労働者の健康状態に及ぼした影響の検証を行った研究結果とその示唆を紹介する。



## 講演③ すべり転倒の現状と評価・対策について

リスク管理研究グループ 柴田 圭 研究員

休業4日以上労働災害の約4分の1が床面での転倒となっており、その転倒の多くがすべりにより発生している。

本発表では、労働災害防止を考える上で重要になっているすべり転倒について、現状の把握と摩擦係数による評価、および対策方法について述べる。



## 講演④ 脊髄損傷者のための動力付外骨格型機器の開発

新技術安全研究グループ 小山 秀紀 任期付研究員

動力付外骨格型機器を用いた歩行リハビリテーションは脊髄損傷者の運動能力を向上させるものの、機器の不具合等によるリスクも指摘されている。

本発表では、被災者の歩行支援に使用される同機器の現状と残留リスクを説明し、そのリスク低減や安全性と使用性を考慮した設計開発の取り組みについて紹介する。

